

応募事業の条件	推奨項目	セルフチェック項目	各①～③ いずれかに☑
公益性	団体の年度ごとの会計を作成し、公開することを推奨します。	①2019年度会計を一般公開している。	
		②2019年度会計書類は作成しているが、一般には公開していない。	
		③2019年度会計書類を作成していない。(新規設立団体含む)	
公益性	応募事業・活動の利用者が特定の人にならないことを推奨します。	①会員制ではない	
		②会員制(会費・参加費なし)	
		③会員制(会費・参加費あり)	
社会的ニーズ	多数の人に必要とされている事業・活動であることを推奨します。	①応募事業の利用者は100人以上の予定	
		②応募事業の利用者は31～100人未満の予定	
		③応募事業の利用者は30人以下の予定	
必要性	社会的支援が不足している点を支援する事業であることを推奨します。	①社会的に必要性を感じ、生まれた事業・活動である。	
		②やりたいことと社会的支援を結びつけた事業・活動である。	
		③その事業が社会的にどういった意味を持つかわからない。	
先駆性	人や社会に先立って行う事業を推奨します。	①他では行われていない事業で、今後必要な人は増える。	
		②モデルとなる事業が他にあるがまだ少ない。	
		③一般的に行われている事業である。	
継続性	事業に継続性があることを推奨します。	①事業に継続性がある	
		②応募事業をもとにして、本体(団体)の事業を継続する。	
		③継続は未定。	
発展性	事業が発展する視野を持つことを推奨します。	①発展していく具体的視野がある。	
		②具体的まではいかないが、発展していく視野がある。	
		③まずは、継続を重視している。	
計画性	実現可能な計画であることを推奨します。	①問題なく計画は実現できる	
		②実現できる可能性は高い。	
		③計画通りにいかないことも考えられる。	
妥当性	助成の対象が目的の達成のためによく検討されて選ばれたものであることを推奨します。	①助成の対象は複数の人とよく検討し決めたものである。	
		②助成の対象は担当者が検討し決めたものである。	
		③助成金額に合わせて申請した。	